

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・ 今月は葬儀の依頼が多い。口コミやWebを見たという客が多く、AIの評価もあるため、良くなっている。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・ 当店は学校の授業で必要な商材を扱っている。新学期の4月から、新入生の追加注文や在校生の買い直し等で、例年通り良い方向に向かっている。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・ 店舗のリニューアル効果、新しいショップの展開効果で、今までにない年代の客が来店している。全体として底上げしている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ 段々と暑くなり冷たい商材が売れるようになってきている。来客数もやや増えており、店としてはやや良い方向に向かっている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ 特に思い当たる節はないが、来客数が純増している。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・ 2～3月が1番悪く、徐々に持ち直してきている。物価が急に上がっていろいろと影響もあるが、値上げもしやすくなっているの、良しあしである。デフレよりは良い。
	○	タクシー（経営者）	販売量の動き	・ 人の動きが戻りつつある。
	○	遊園地（職員）	来客数の動き	・ 梅雨入りして天候の悪い日が多く、団体のキャンセルも出た一方、インバウンドは引き続き好調に推移している。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・ 季節商材が動き始めてはいるものの、低単価の物が多い。消費は必要に応じた物のみで、経済的な余裕はみられない。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・ 米を始めとして、生鮮品の単価上昇が売上にプラスとなっている。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・ 前年比では売上は13%増加、来客数は1%減少となっている。4月から病院売店の取引が増えたため、売上は良くなっている。決算が終わったが、予想外に結果が良くなかった原因として、米、油、食品等の値上がりが続き、仕入価格が上がったことがある。今期は、新規の病院売店、近隣スーパーの閉店に伴う地区関係の取引も増えたので、期待している。
	□	コンビニ（店長）	販売量の動き	・ キャンペーンや特別な商材が出た状態で、何とか売上を保っているため、実際は若干良くないかもしれない。売上としては余り変わっていない。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・ 来客数の前年割れが続いている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ 車検、一般整備の金額目標はクリアしているものの、車両販売に関して、特に中古車販売では客の希望車種の提示金額と相場にギャップがあり、なかなか契約に結び付かない。
	□	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・ 物価高で客単価は前年を超えているものの、来客数は減少しているため、変わらない。
	□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ 例年6月は売上が多くなる月のはずなのに、今年はいつもととは違う。
	□	タクシー運転手	販売量の動き	・ 昼間の動きはまあまあだが、深夜12時を過ぎるとほとんど客がいない。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・ 現状、前年や前月と比べても、売上は増加に転じているが、エリア拡張による新規契約の増加が主要要因で、既存のサービス提供エリアからの獲得は多くない。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・ ゴールデンウィーク前後から、報道等は米価高騰、米国の関税政策、中東情勢と暗い話題が中心で、人の流れやお金の使い方が悪くなっている。
	▲	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・ 夏のクリアランスセール前の買い控えや中元需要の低迷、また、不安定な世界情勢や国内の物価上昇等で、消費は伸び悩んでいる。他社や他店の衣料品セールの前倒しも影響があると推測する。

	▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・値上げの影響で客単価は上がっているが、やや悪い。
	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少で明らかに悪くなっている。依然として物価高に客は慣れていない。暑い日は客が若干増えているが、気温によって来客数の増減がある。
	▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・地域ごとの来客数の回復が追いついていない。
	▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車目的の来場者数が減少しており、受注台数も落ち込んでいる。
	▲	その他専門店〔酒〕（店長）	お客様の様子	・ゴールデンウィークが終わった後と6月はいろいろな税金を納める関係で景気は余り良くない。6月前半は持ち直して、売上の大きな動きもあったが、後半になり、非常に消費が落ちている。報道等で諸物価高騰や米価等の上昇が取り上げられている影響もあってか、後半になってからが良くなかった。今後もこの状況が続くとみている。
	▲	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前の6月は、各種組合等の総会があり、田植後の時期は地元の同窓会、老人会等の団体利用が多かったが、最近はそうした団体客は激減している。地元団体客が減った分の穴埋めを首都圏からの客やインバウンドで対応していたが、梅雨時の6月は首都圏からの客も少ない。わずかではあるものの、7月に災害が発生するという予言の影響で香港からの客も減少している。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・数か月前から個人利用の来客数及び来客頻度が落ち込んでおり、特に、平日の落ち込みが大きい。対照的に、法人利用はさほど落ち込みはなく例年並みである。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前の3月、前月、前年の6月と比べて、レストランの来客数は5%強、減少している。米価や物価高などにより、消費者の外出マインドが低下し、ぜいたく志向であるホテルのレストランでの外出を控えている傾向がある。
	▲	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・物価上昇に伴って旅行代金も引き上げられてしまい、旅行意欲の低下がみられる。特に、個人客の動きが鈍く、安近短の旅行を選ぶ傾向にある。
	▲	通信会社（社員）	販売量の動き	・例年6月は悪いが、それ以上に販売量が落ちている。
	▲	観光名所（職員）	来客数の動き	・今月は観光客が減少傾向である。7月に災害があるという予言の影響を受けて、インバウンドも特にアジア圏からの観光客が少なくなっている。
	▲	ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・予約の動きが遅くなっている上に、キャンセルが出た場合の空き時間の埋まり方が悪い。
	▲	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークが終わり夏休みに入る前で、1年間を通して来客数、売上共に低い月のため、他の月と比べると忙しくない。前年比でもマイナスになる見込みである。
	×	スーパー（店長）	お客様の様子	・備蓄米の販売日やセール日に来客数が増加している。セール日にまとめ買いしている様子が、1年前より顕著になっている。
	×	スーパー（副店長）	来客数の動き	・一般客は横ばいだが、観光客は前年同月比で減少している。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・工事受注は増えてきており、仕事量は確保できている。ただし、工事単価が上がっていないため、利益のことを考えると心配である。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・引き続き、大口受注の対応で多忙である。
	□	電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量も余り変化がないため、できれば現状のままでいてほしい。

	□	その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・催事では来場者数減少にもかかわらず、金価格の高騰で商 材単価が上がっているため、売上は目標額に達している。来 場した客から、新型コロナウイルス感染症の収束後、友人と の会食機会が減少し、旅行も軽装になっていて、ジュエリー をつける機会がないと聞いており、先行きの見通しは厳し い。
	□	金融業（調査担 当）	取引先の様子	・製造業は半導体関連の受注回復の遅れから、足踏み状態が 続いている。非製造業は観光関連や小売業が底堅いものの、 利益面で厳しい状況にある。
	□	新聞販売店〔広 告〕（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・6月の新聞折込は前年並みで、買取り業関係の出稿が前年 比プラス47%と高い数字となっている。
	▲	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・仕事量は確保できているものの、利益が少ない。人件費、 材料費、動力費等の高騰に、売上が追い付かないこともあ る。
	×	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量 の動き	・連日の猛暑の影響もあり、来場者数や売上金額の減少がみ られる。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・月間有効求人数は前年同月比で微減が続いているものの、 大きな変化はみられない。
	□	職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・継続する物価高や海外情勢等が企業収益を圧迫、阻害して おり、人材確保のための原資確保に苦慮している様子がうか がえる。また、長引く物価高で生計費の不足や将来に対する 不安から、収入を増やしたいという求職者も一定数はいる。
	□	民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・現場技能者の求人は多いものの、採用基準がやや厳しく なっており、求職者がしっかり準備しないと内定に至らな い。
	▲	人材派遣会社 （営業担当）	求職者数の動き	・人材確保は相変わらず大変だが、求職者も賃金だけをみて 動いており、ハローワークも含め、うまくマッチングができ ていない。結局、支出に対して収入が追い付かず、困窮者が 増えている。
	▲	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・当所管内の令和7年5月の有効求人倍率は1.12倍となり、 前年同月比で0.18ポイントの低下となっている。月間有効求 人数が13か月連続で減少している。
	×	—	—	—